

# 海老名災害ボランティアネットワークだより



平成30年5月1日発行 第32号

発行 海老名災害ボランティアネットワーク（海老名災ボラ）  
事務局 海老名市めぐみ町6-3、海老名市社会福祉協議会地域福祉課内  
ホームページアドレス <http://www.ebina-saibora.net/>

## 自助＋共助＋公助の連携・協力で、大規模災害での被害の最小化を図る！

地震など大規模災害はいつ起こるか分かりませんが、起った時に、自助（自分自身の努力）、共助（隣近所や地域の努力）、公助（公共機関の努力）が、相互に足りないところを補うように連携・協力して活動できれば、被害を最小限に抑えること（減災）が可能です。地震が起こる前に、家庭・地域・公共機関が、それぞれ防災・減災訓練を実施し、課題の発見と改善の努力が求められています。

### （1）「自助」が出発点：大災害でも「生き残る心構え」と「事前の備え」

#### ① 家の安全点検を自分（家族）で行う！

- ・家の耐震性、家具転倒防止対策、ガラス飛散防止対策、感震ブレーカー設置の対策を実施。
- ・大災害が発生した時の家族の連絡方法を確認しておく。

#### ② 水や食料の備蓄は「ローリングストック方式」で行う！

- ・水や食料・日用品を多めに購入し、古い物から消費して補充する。
- ・非常持ち出し品は、持ち出しやすい場所に置いておく。

#### ③ 災害時の「トイレ対策」（水を使わないトイレの使い方）も重要です！

- ・水道が止まった場合、水洗トイレを使うことは禁止です。汚水管が破損すると、汚水が溢れ出します。トイレにゴミ袋をかぶせて、固形物として処理することが必要です。

### （2）共助：自治会（自主防災組織）の防災・減災訓練に積極的に参加しよう！

#### ① 隣近所で「顔の見える関係づくり」を日常的に進めよう！

隣近所の日常的な交流で、安否確認、情報伝達、助け合い活動などの基礎がつけられます。

#### ② 自治会（自主防災組織）の実施する防災訓練に積極的に参加しよう！

自主防災組織では、安否確認、情報伝達、消火訓練、怪我人搬送などの訓練に参加しよう。

#### ③ 広域避難場所、避難所、避難経路など安全なルートを事前に調べる！

大規模火災が起った場合に避難する「広域避難場所」、家で暮らせなくなった場合に行く避難所、そこへ行くルートの事前確認（周囲の安全点検を行いながら歩いてみよう）。

### （3）公助：行政（県・市）が開催する防災訓練・防災講演会に参加しよう！

行政機関からは災害に関する様々な情報が提供され、住民に対して難指示などが出されます。そうした防災関連情報を知り、行動を起こすことも重要です。また、神奈川県では、「ビックレスキューかながわ」と言われる神奈川県と市の合同防災訓練が毎年、実施されています。こうした大規模な防災訓練にも積極的に参加していきましょう。

## 災害救援ボランティアセンターの立上げ訓練を実施！（社協・災ボラ）

平成 30 年 2 月 17 日(土)、午前中は、災害時における「海老名市の対応」、「社会福祉協議会の対応」、「海老名災ボラの活動」など座学を行いました。午後から総合福祉会館の駐車場で「災害救援ボランティアセンター」の立上げ訓練を実施しました。海老名市民及び社協職員など 43 名が参加しました。訓練は、災害救援ボランティアセンターのスタッフ（コーディネーター）養成講座として実施しました。被災地でボランティア活動を行う時、ボランティアを受け入れる時のイメージをつかんでください。

### （１）ボランティア受付・登録：各地から来るボランティアの受付と登録を行う！



ボランティア役の参加者が、氏名・住所・連絡先などを「登録票」に記載し、受付に提出します。

登録票を受け取り、チェックして海老名災害救援ボランティアセンターが発行する「登録証」を渡します。ボランティアはこの登録証を携帯することを要求されます。これは、ボランティアを装った不審者ではないこと、海老名救援ボランティアセンターに登録したボランティアであることの証明。（ボランティア保険に入っていない方は保険に入ってもらおう）

### （２）マッチング・送り出し：被災者ニーズとボランティアを結びつけ、活動内容を指示！



救援ボランティアセンターに来ている被災者からの支援要請「ボランティア派遣依頼票」⇒「ボランティア求人票」を該当するボランティアに渡す。

このボランティア派遣依頼書にも、求人票にも、被災現場で、どのようなボランティア活動が要請されているのかが具体的に書かれています。ボランティア活動に対する注意事項(安全と被災者への心遣い)を示し、現場へ送り出す。

### （３）活動資機材 ⇒ 活動用具をもって被災現場へ行き、支援ボランティア活動を実施！



ボランティアは、被災現場でのボランティア活動に必要な資機材を資機材係から受け取って、車か徒歩かで、被災現場に向かいます。（訓練では徒歩）

被災現場までのルートは、地図に依るか、スマホのマップに依るか、海老名災害救援ボランティアセンターのスタッフが案内するか、被災地の実際の状況により、かなり変わってくる。被災現場では、被災者に挨拶し、安全に作業を実施する（訓練では作業はしない）。

### （４）ボランティア帰着報告：活動を終えて、安全に帰着したことを報告

指定された時間まで作業し、救援ボランティアセンターに戻って、資機材を返却し、安全に帰着したこと、どこまで作業したかなどを報告する。その日のボランティア登録証をセンターに返して、当日のボランティア活動を終了する。

## 相模川流域水害防災講演会を開催！ 神奈川県災害対策課・河川課、横浜気象台



平成 30 年 2 月 24 日（土）、海老名災ボラと社協の主催で防災講演会を開催した。県安全防災局災害対策課から「かながわの風水害対策」、横浜地方気象台から「防災気象情報の利活用について」、県土整備局河川課から「災害から身を守る～水害への備え～」に関する講演が行われた。午後は災害時にインターネットや SNS(ソーシャルネットワークワーキングサービス)を使った情報収集・提供を学んだ。

## 災ボラは自治会・各種団体の自主防災訓練に参加・協力しています！

### 東柏ヶ谷 1・2 丁目自治会主催の防災訓練に参加

#### 「災害用炊飯袋」を使った炊飯方法などを実演！

2017 年 11 月 25 日（土）、東柏ヶ谷 1・2 丁目自治会が主催する防災訓練が東柏ヶ谷第一公園で開催された。

海老名災ボラは、この防災訓練に参加・協力して、非常用炊飯袋（ハイゼックス）を使った炊飯の実演、災害時に水を使わないトイレの使い方の説明（実演）を、集まった自治会の会員 100 名の前で行った。



### 海老名コーポラス団地防災委員会主催の防災訓練に参加

#### 「非常用トイレの使い方」などを説明（実演）！

2017 年 12 月 17 日（日）、中新田にある海老名コーポラス団地防災委員会の主催する防災訓練が同団地の中庭で開催された。海老名災ボラはこの防災訓練に参加し、災害時用組立式簡易トイレや、段ボールで製作した非常用簡易トイレを使って、「水を使わないトイレの利用方法」（ゴミ袋を使い固形物として扱う方法）を、参加した 120 名の自治会員の前で説明（実演）した。



#### 「農業まつり」に出店、新聞紙を使った紙コップづくり（折り紙）で災害時の「工夫」を PR

2017 年 11 月 26 日（日）に、グリーンセンターで「ふれあい農業まつり」が開催された。

災ボラはここに出店し、新聞紙を折ってコップの形にして、ビニール袋をかぶせてコップにする方法を実演した。これは災害時に物が無い時に、そこにある物を使っていろいろな物が作れることを示し、災害時には、考え方を柔軟にして、「工夫」が重要だという実例を示したものです。同時に、災害時のトイレの使い方を実演しながら説明した。



## 「イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」に参加、イオンギフトカードを授与される！

「イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」に協力した団体に対する「イオンギフトカード」授与式が今年 4 月 7 日に開催され、海老名災ボラはギフトカードを受け取りました。これまで、海老名災ボラは、「黄色いレシートキャンペーン」(注)に協力してきました。このギフトカードを使って、災ボラの活動に必要な物品の一部を購入しています。

(注)「イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」とは、イオンがボランティア活動をする団体を支援する目的で開始したキャンペーンで、毎月 11 日に「黄色いレシート」を発行し、お客さんが黄色いレシートを協力する団体名が入った箱に入れ、レシート金額の 1 年間の合計金額の 1%に相当するイオンカードを授与する仕組みです。



## 海老名災ボラ、第 17 回 定期総会を開催、新たな役員体制を確立！

平成 30 年 4 月 14 日(土) 14 時より海老名総合福祉会館で、海老名災害ボランティアネットワークの定期総会が開催されました。定期総会では、平成 29 年度事業報告、平成 29 年度収支決算報告、同会計監査報告、平成 30 年度役員選出、平成 30 年度事業計画、平成 30 年度予算などの議案が承認されました。平成 30 年度の海老名災ボラの役員として、代表：福田博、副代表：水本晶子、会計：松井俊輔、三宅良子、顧問：橋本賢司(前代表)、事務局員(7 名、各専門部を分担)が承認されました。

### **海老名災害ボランティアネットワーク 会員募集中！**

#### **① 市民の減災・災害対応の「自助」能力を高める活動！**

平常時には、市民の皆さんの減災・災害対応の「自助」能力を高めるための諸活動を推進しています。本日のような市民向けの体験型訓練、小学校での防災講座(社協の「福祉教室の一環として)、海老名市の各種イベントに参加して防災・減災に関する啓発活動を進めています。

#### **② 海老名が被災地となった時に、災害救援ボランティア・スタッフとしての活動！**

海老名市が地震災害などの被災地となった時に、社協が中軸となって設置される「災害救援ボランティアセンター」でスタッフとして活動します。そのための「コーディネーター養成講座」(通常は年 1 回 2 日間)を開催しています。

#### **③ 大規模災害が発生した場合に、被災地・被災者支援のボランティア活動へ参加！**

東日本大震災のような大規模な地震災害が発生した場合、被災者・被災地への支援活動を行ってきました。新潟地震災害支援、東日本大震災の支援などの活動を実施してきました。

●海老名災害ボランティアネットワークでは、年 1 回の定時総会があり、個人会員の年会費は 2000 円です。海老名市に、在住または在勤の方は会員になることができます。

定例会は、毎月 1 回、午後 7 時～9 時 海老名市総合福祉会館の会議室で開催しています。

入会希望者は、災ボラ会員か、社協地域福祉課まで連絡してください。